

令和2年12月

各団体・機関の責任者 各位

一般社団法人 農業開発研修センター
会長 理事 小池 恒男
[公 印 省 略]

令和2年度（通算第45回）地域農業振興に関する研究会の開催について

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターでは新型コロナウイルス感染症にかかる4月の緊急事態宣言を受け、7月と8月に予定の基幹研究会を止むなく延期（または中止）しておりました。しかし、5月の緊急事態宣言解除以降、事態の混迷の深まりと緊急性を鑑みて、半日の日程ではありますが、8月と9月に緊急特別研究会を開催しました。その後、10月にはJA共済総合研究会、11月には延期していた農協問題総合研究会を通常日程で開催し、北は青森県から南は沖縄県まで、全国各地から積極的なご参加を賜りました。

この度、標記研究会を別添開催要領のとおり開催いたします。「趣旨」にありますとおり、地域経済活性化の一翼を担う地域農業の振興をいかに図るかの課題を真正面から捉え、その実現に向けた地域力強化、地域農業支援について徹底討論することをねらいに開催します。

昨今のコロナ禍における農業振興計画・中期計画等の各種「計画」見直しの手掛かりとして本研究会を位置づけていただき、実践のキーマンである常勤役員及び管理職の方々や、計画策定にたずさわる担当部署から多数のご参加を期待しております。

貴団体・機関の関係者の皆様の積極的なご参加を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。なお、当センターでは、本研究会開催にあたり、別記のとおり、万全の感染防止対策に努めます。

敬 具

令和2年度（通算第45回）

地域農業振興に関する研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

《趣 旨》

昨年12月に武漢で初めて感染が確認された新型コロナウイルスは、瞬く間に世界各国に広がり、わが国においても、4月に第一波、8月に第二波と猛威を振るい、需要の喪失、価格の下落、生産活動や物流の停滞、供給の縮小によって、雇用不安は広がり、失業は拡大し、先が見通せない状況が続いています。

このような混乱した情勢の中、菅内閣が9月に誕生しました。菅首相は所信表明で、「活力ある地方を創る」といって海外輸出の強化やインバウンドによる活性化と謳いました。しかしこれらも停滞、激減の現実に向き合っています。

そこで本研究会は、地域経済活性化の一翼を担う地域農業の振興をいかに図るかの課題を真正面から捉え、その実現に向けた地域力強化、地域農業支援について徹底討論します。

期 間：令和3年2月4日(木)～5日(金)

会 場：京都JAビル 地下2階 201・202会議室（別図参照）

京都市南区東九条西山王町1 (TEL 075-681-5169)

JR京都駅八条口より徒歩5分

定 員：40名 ※「3密」を避けるため、最大40名を厳守させていただきます。

参加費： [円(税込)／人]

会員 ^{※1}	非会員	会友同時加入
45,000	62,000	51,000 ^{※2}

※1：会員所属者および令和元年度以前からの会友（個人会員）です。

※2：令和2年度・3年度の2カ年の会友（個人会員）会費を含む金額で、新規加入に限ります。
補足）令和元年度以前からの会友（個人会員）は部分参加割引があります。

昼 食：

5日(金)に昼食（弁当、1,300円）を準備します。

ご希望の方は、参加申込書にご記入のうえ、代金を送金してください。

申込方法：

参加申込書をファックスで送信し、参加費を送金してください。

なお、振込手数料はご負担ください。

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座預金 口座番号：6373291

京都銀行 京都駅前支店 普通預金 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター
（シヤ） ノウギヨウカイハツケンシユウセンター

申込締切日：1月29日(金)17:00

受付ができましたら、受理通知書をファックスで送信します。

当開催要領および参加申込書は、ホームページ (<https://agridtc.or.jp>) に掲載しています。

日 程：

《第1日目》 2月4日(木)

13:20～13:40 開会あいさつ・オリエンテーション

一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 小池 恒男
(滋賀県立大学名誉教授)

13:40～15:10 報告Ⅰ 新たな環境に向けて農業・農政の課題を考える

(うち質疑応答約10分)

大妻女子大学・横浜国立大学名誉教授 田代 洋一 氏

- 安倍官邸農政を総括し、ポスト官邸農政を考える
- メガFTAの展開、米中対立、欧米の新農政展開を踏まえる
- 新型コロナウイルスの経験を踏まえた「この国のかたち」と農業・農政のあり方を考える

15:10～15:20 休 憩

15:20～16:30 報告Ⅱ 生産基盤強化に向けての農政課題は何か

(うち質疑応答約10分)

滋賀県立大学名誉教授 小池 恒男 氏

- 食料自給率引き上げの課題は何かー食料自給率を国民の手にー
- 水田農業のあり方と農業再生協議会の課題
- オルタナティブ農業をこう展望する

《第2日目》 2月5日(金)

シンポジウム「徹底討論 地域力の強化、地域農業支援をどう実践するか
ーコロナ禍を超えてー」

9:30～ 9:40 座長解題 一般社団法人長野県農協地域開発機構 研究所長

岡山大学名誉教授 小松 泰信 氏

<議論したい論点>

- 地域農業振興・活性化を図るための地域農業支援の実践
- 新型コロナウイルス感染症に対する各種支援への対応 等

9:40～10:40 実践報告① 部門間連携による農業融資拡大・強化の取り組み

岐阜県 めぐみの農業協同組合 常務理事 加藤 正和 氏

- 平成15年に誕生した5市7町1村を区域とするJA。組合員総数60,984名（うち、正組合員29,284名）、貯金6,025億円、貸出金1,368億円、長期共済保有高12,842億円、販売品販売高73億円、購買品供給高101億円（令和元年度実績）
- 営業に特化した農業融資専任担当者を配置することによる出向く体制の強化
- 支店長、営農担当、担い手専任担当との同行訪問による組合員のニーズに沿った提案型融資営業の展開

10:40～10:50 休憩

10:50～11:50 実践報告② 多様な労働力支援による規模拡大と所得増大の取り組み

愛媛県 越智今治農業協同組合 営農振興部
部長 森 康弘 氏

- 平成9年に誕生した今治市（一部を除く）・上島町を区域とするJA。組合員総数36,141名（うち、正組合員9,788名）、貯金3,035億円、貸出金563億円、長期共済保有高5,824億円、販売品販売高62億円、購買品供給高42億円（令和元年度実績）
- 農作業支援を担う農協出資法人「ファーム咲創」、農協職員をメンバーとした営農支援グループ「心耕隊」、人材派遣会社と連携した「農業応援隊」による多様な農作業支援への実施
- 作物別・作業別等生産者のニーズにあった労働力支援の取り組み

11:50～13:00 昼食

13:00～14:20 討 論

(座 長) 前 掲 小松 泰信 氏
(コメンター) JAから1名

14:20～14:30 閉会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津 孝
(京都大学農学部非常勤講師)

注) 講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

当センターは、研究会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、以下の取り組みを実施します。

- 会場における換気の徹底と、十分な座席間隔を確保します。
- 会場に消毒液を準備・設置します。
- 咳エチケットや手洗いなどの実施など、皆様のご協力をお願いします。
- 当日はマスク着用のご協力をお願いします。
- 入室時に受付で検温を実施し、37.5度以上であれば受講をご辞退いただきます。
- 発熱や咳、全身痛の症状がある場合など、体調に不安のある方は参加をご遠慮ください。

キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

- ・ 11月29日(金)17:00まで …… 10,000円
- ・ 11月29日(金)17:00以降 …… 全額

研究会レジメの追加について：

当研究会へご参加の場合に限り、1部あたり7,000円（消費税込）で申し受けます。

追加をご希望の場合は、参加申込書の下欄にご希望の部数をご記入ください。

追加レジメは、研究会当日にお渡しします。

後日発送をご希望の場合は、送料をご負担ください。

その他：

ホテルにつきましては、各自で手配してください。

問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター 研究会受付係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（京都JAビル）

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：info@agridtc.or.jp

URL：https://agridtc.or.jp

アクセス：



《所要時間》

- ・ JR京都駅（八条口） ⇄ 会場（京都JAビル）＝徒歩5分

農業開発研修センター 行き

<FAX : 075-748-0855>

令和2年度（通算第45回）地域農業振興に関する研究会参加申込書

〒

TEL

FAX

ご住所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）

ふりがな
（お名前）

部課・役職名	ふりがな 参加者氏名	会友同時加入 （希望者は○）	昼食（弁当） （希望者は○）
<記入例> 営農課長	けんしゅう たろう 研修太郎	○	○

レジメの追加希望 （ ）部

メールアドレスをご記入いただきますと各種セミナーの開催をご案内します。

@

<送金状況>

1. 振込（予定）先 …… イ. 京都信連 ロ. 京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

2. 振込（予定）日 …… 月 日

注1）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。

《申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。》

2）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。